

第3回城東南部 報告書

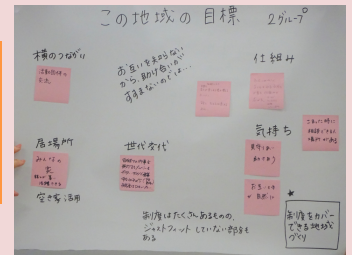
まちづくり 話し合い ひろば

2023.8.23

砂町文化センター

13:30~15:30

参加者19名



「まちづくり話し合いひろば」では、日頃から感じている地域の福祉課題や強みを念頭においていただきながら、「福祉のまちづくり」のアイデアを出し合います。そのアイデアを第5次地域福祉活動計画の中に盛り込むことで、実際の活動へとつなげ、広げていくための機会とします。

ワークショップ

あつまるとつながるとやってみる！

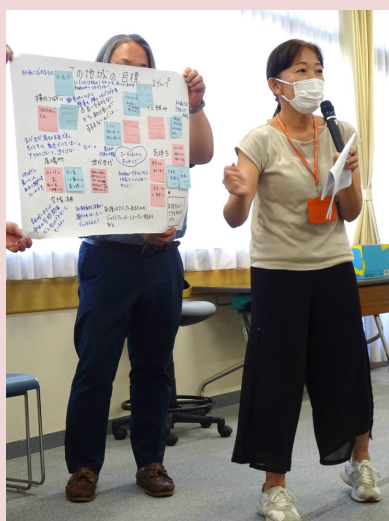
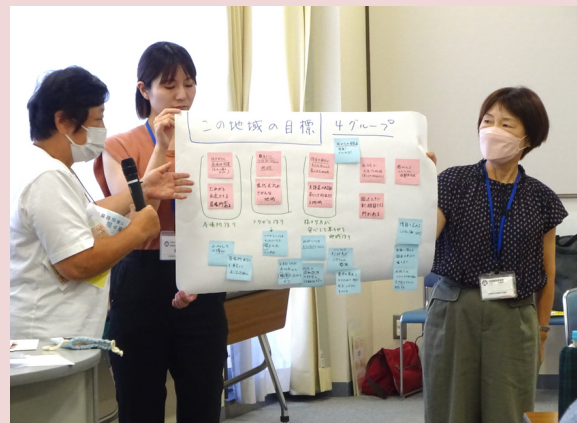


地域の活動目標 主な意見

- ・ あいさつをしよう
- ・ 世代交流していこう
- ・ 地域の方を間接的、直接的にゆったりと見守り、助け合いをしよう
- ・ 問題を一緒に考えて解決を目指そう
- ・ 話し合い、楽しい仲間づくり、助け合いをしよう
- ・ 居場所をつくって、つながり交流しよう
- ・ 地域の中で情報を共有していこう
- ・ 世代交流していこう
- ・ 様々な方が安心して暮らせる地域にしよう

社協に期待すること 主な意見

- ・アウトリーチによる地域支援
- ・地域情報を収集し、その情報を地域に情報提供
- ・若い世代の声を拾い上げる場づくり
- ・地域から頼れる社協
- ・住民と社協の顔がつながり気軽に相談できるようにする
- ・社協が知られていない、もっと周知PR
- ・誰もが集える居場所づくり



- ・つながりづくりのきっかけになる場を企画
- ・町会・自治会と活動団体のつながる仕組みづくり
- ・ボランティアの人材育成システムの整備
- ・意見や要望を取り入れて形となるシステムづくり
- ・活動団体が交流する場づくり
- ・課題へ寄り添い伴走する（助成金・補助金・仲間探し）
- ・サテライト社協の増設
- ・制度の狭間の支援（なければつくる、とにかくつくる）
- ・社協内連携を徹底して欲しい
- ・空き家バンクのような事業を立ち上げて欲しい

地域福祉活動計画策定委員 高崎健康福祉大学 健康福祉学部 岡田哲郎 講師



私の好きなパペットアニメーションに「チェブラーシカ」というものがある。ご存知の方はいらっしゃるか？お猿さんのようでお猿さんではない、正体不明の生物で、かわいいキャラで、ワニのゲーナ等の仲間と一緒に日常を紡いでゆくアニメで、今日思い出したシーンがあった。孤立・孤独している人がいっぱいいるということに気付いたチェブラーシカ達がみんながつながれる建物をつくろうということ、妨害する人もいる中、苦勞して出来上がり、セレモニーをする。チェブラーシカがとても喜んで

「では皆さん、孤独な人はここに名前を書いて下さい」と言ったところ、「どうして？だってみんな友達だよ」ということでそれぞれの家に帰っていくという有名なシーン。

本来つながりとか関係は、自然に協働関係を紡いでいって、段々と出来上がり紡がれてゆくものなのだという。無理やりつくっていくものではないということに改めて共有できれば良いと思った。

3回の「まちづくり話し合いひろば」では、「地域のいいところ」「地域の困りごと」「6年後こうなったらいいな。地域の目指す姿」「自分・地域・団体でできること」「この地域の活動目標」「社協に期待すること」など、地域福祉活動計画策定に向けて、皆様からのご意見を頂きました。ありがとうございました。この『まちづくり話し合いひろば』は、策定だけでなく、それぞれの地域のゆるやかなプラットフォームとなるように、地域の方の手により、まちづくり、地域づくりが推進されるよう社協が継続して開催していきます。
(総務課総務担当 井上)